

義務教育課長メッセージ

本日（6月8日）の動きについて

半数以下

学校の完全再開から2週間が過ぎました。本日、各市町教育委員会、各学校の協力を得て、2週間ぶりに「感染への不安」を理由に登校しなかった児童生徒数を調査しました。県内小中学校の該当児童生徒の数は、2週間前（5月25日）の調査結果と比べると、半数以下に減っています。今回の結果から、保護者や児童生徒の間に、学校は安心であるとの認識、5月中旬にクラスターが発生したとはいえ、市中感染が懸念される状況にはないとの認識がいつそう広まってきたことが推測されます。

ステップⅡ

県立学校では、本日から「学習指導における実技・実習等の段階的再開」のステップⅡにステージアップしました。新規感染者の発生が抑えられていることを受け、当初の計画どおりの措置を取ったものです。この期間、「活動を段階的に再開するが、特に感染リスクの高い次の活動は行わない」こととしています。

- ◆長時間、近距離で対面形式となるグループ学習等
- ◆近距離での合唱及び管楽器演奏
- ◆近距離で活動する調理実習

学習指導同様、部活動についても、本日からステップⅡに入っています。

このことについては、市町立の各小中学校に対しても文書でお知らせしました。ただし、県内全ての小中学校にこれと同じ対応を求めるものではありません。県では、6月18日までを（感染）警戒期から縮小期への移行期間として位置付けていること等を踏まえ、地域の実情、学校の実態に応じた対応をお願いします。

夏季休業

今の段階で、例年であれば夏季休業に当たる7月末、8月末に、まとまった数の授業日や登校日を設ける市町は、半数を超えており、検討中の市町についても、同様の措置が取られるのではないかと考えられます。最も多いのは、夏季休業を8月1日から23日までとするパターンです。「40日間に及ぶ休み」でなくなるのは異例のことですが、本県では、いわゆる「極端な夏休みの短縮」は避けられていると言えます。

このような中、松山市教育委員会から「松山市版オンライン学習支援動画」の県内放送のお話をいただきました。夏季休業中の8月3日～8月23日を目安に県内CATV各社が定める期間、松山市の有志の手による小学1年生から中学3年生までを対象とした学習支援動画が放送されます。各局の放送予定が決まった折には、学校のHP等を用いて、ぜひ子供たちに紹介してもらいたいと思います。このことについても、本日、各小中学校へお知らせする文書を出しました。

なお、県教育委員会においては、総合教育センターを中心に、「愛媛学びの森」所収教材の有効活用に係る動画を作成中です。夏季休業までには、同センターのHPにおいて動画配信をスタートさせることとしています。詳細が明らかになりましたら、追って連絡をします。

梅雨入りの報道があったとたん、梅雨が明けたかのような好天、暑さが続いています。子供たちにとっても、先生たちにとっても、新たな生活スタイルへの適応と並行して、夏の気温に体を慣れさせることは大変だと思います。無理はせず、一つ一つの活動を丁寧に積み上げていってください。